

# 「ナイルスネイル」に当院が紹介されました。



(左)芝公園歯科の院長・えぼした敬氏。最新、最高のインプラント治療を求めて、欧米の専門機関で学び、知識と技術を身に付けてきた。やわらかな笑顔と丁寧なインフォームドコンセントで、患者の不安を取り除き、真に価値あるインプラント治療を行っている。(右上)外光が明るく差し込む診療コーナー。(右中)CGを使い、インプラント治療の過程を説明する。映像を見ながらの説明は非常に分かりやすく、「インプラント治療に対し漠然と抱いていた不安が解消され、安心して治療に臨むことができる」と、患者側からも非常に喜ばれている。写真の映像は、歯茎を開きあごの骨に人工歯根を埋め込んだところ。自分の口の中で何が行われているか分かれば格くない。(右下)CTスキャンを用いた精密なシミュレーションを基に、「All-on-4」の治療法で人工歯根を4本バランス良く埋め込む。

## インプラント治療の最先端を行く

### 芝公園歯科・インプラント

インプラント治療の新しい形「All-on-4(オールオンフォー)」。  
オペ当日には、仮歯がきれいに入り、物が噛めるようになる夢のような治療が、芝公園歯科で行われている。

Photo TONY TANIUCHI Text Ichiko Minatoya

歯を失うことは、健康を損なうこと、老化を進めること。食べる楽しみが半減するだけでなく、かみ合わせが悪くなり、輪郭のゆがみや口のまわりのしわをつくることにもなる。その解決策として、最近注目されているのが、インプラントだ。しかし、あごの骨に人工歯根(インプラント)を埋め込むこの治療法には、「大手術だから怖い」「時間がかかる」「高額で何にいづらかかるのか」が不明瞭」といった、マイナスイメージを懸念する声が続々聞こえてくる。

そんな中、最先端機器と高い技術、丁寧な説明で、安心してインプラント治療を受けられるクリニックがある。それが芝公園歯科だ。院長のえぼした敬氏は、インプラント治療の先進国であるアメリカを始めとした欧米各地で、最先端技術を身に付け、研鑽を積んできた。

診療はCGを使った治療過程の説明から始まる。このとき、部位ごとに必要な金額も説明されるので、治療費の内訳も分かる。丁寧な説明で治療に納得したら、最新CTで顎蓋骨全体の3D映像を撮影。この詳細な3Dデータを基に治療プランを立て、人工歯根を埋め込む位置などを決めるため、実際に患者が口を開ける時間が圧倒的に少ない。10回以上の通院をインプラント治療が多い中、このクリニックでは4～6回と驚くほど短期間で済む。

最新の治療法である「All-on-4(オールオンフォー)」は、従来は片あごに8～10本必要とされていた人工歯根を、4本で可能にした。CTスキャンを用いた精密なシミュレーションを基にしているため、人工歯根をバランス良く埋め込む。手術も短時間で済むので、出血が少ないことも大きなメリットであり、魅力となっている。

えぼした氏は、「CTなどから取れる医療情報から、仕上がり予想を患者様と共有できることが安心できるインプラント治療の根拠です。出来上がった歯でにっこり笑う患者様の喜ぶ姿こそが、私の喜びです。」と話す。実際、インプラントにしたことで、滑らかにしゃべれるようになった、表情が若返った、食事が楽しくなったなど、喜びの声が多く寄せられている芝公園歯科。紹介でここを訪れる人が多いというのも、その評価の高さを裏付けている。